

2014年3月期 決算説明会

日本通運株式会社
代表取締役社長 渡邊 健二

I. 経営状況	P. 1-
II. 外部環境の変化	P. 12
III. 経営計画の進捗状況	P. 13
IV. 2015年3月期の業績予想	P. 15-
V. 配当の状況	P. 23

2014年5月8日

2014年3月期決算説明会資料

I. 経営状況

A. 2014年3月期決算の概要

1) 概要（連結）

（単位：億円、％）

	2014/3期 実績 ①	2013/3期 実績 ②	増減額 (前年比) ③=①-②	増減率 (前年比) ④=③÷②x 100	通期予想 (10月31日発表) ⑤	差額 ⑥=①-⑤	率 ⑦=⑥÷⑤ x100
売上高	17,524	16,133	1,391	8.6	16,900	624	3.7
営業利益	408	332	76	23.1	400	8	2.2
経常利益	501	415	86	20.9	480	21	4.5
当期 純利益	263	238	25	10.5	250	13	5.4

（億円未満切捨て）

2) 連結経営指標

（前期実績）

・売上高営業利益率	2.3%	(2.1%)
・売上高経常利益率	2.9%	(2.6%)
・ROE	5.2%	(4.8%)
・ROA	2.0%	(1.9%)

B. 財政状態および退職給付会計基準の改正に伴う影響

1) 財政状態

(単位：億円)

	2014/3期	2013/3期	増減
総資産	13,774	12,476	1,298
自己資本	4,958	5,136	△178

2) 退職給付会計基準の改正に伴う影響 (2014年3月期)

(単位：億円、%、ポイント)

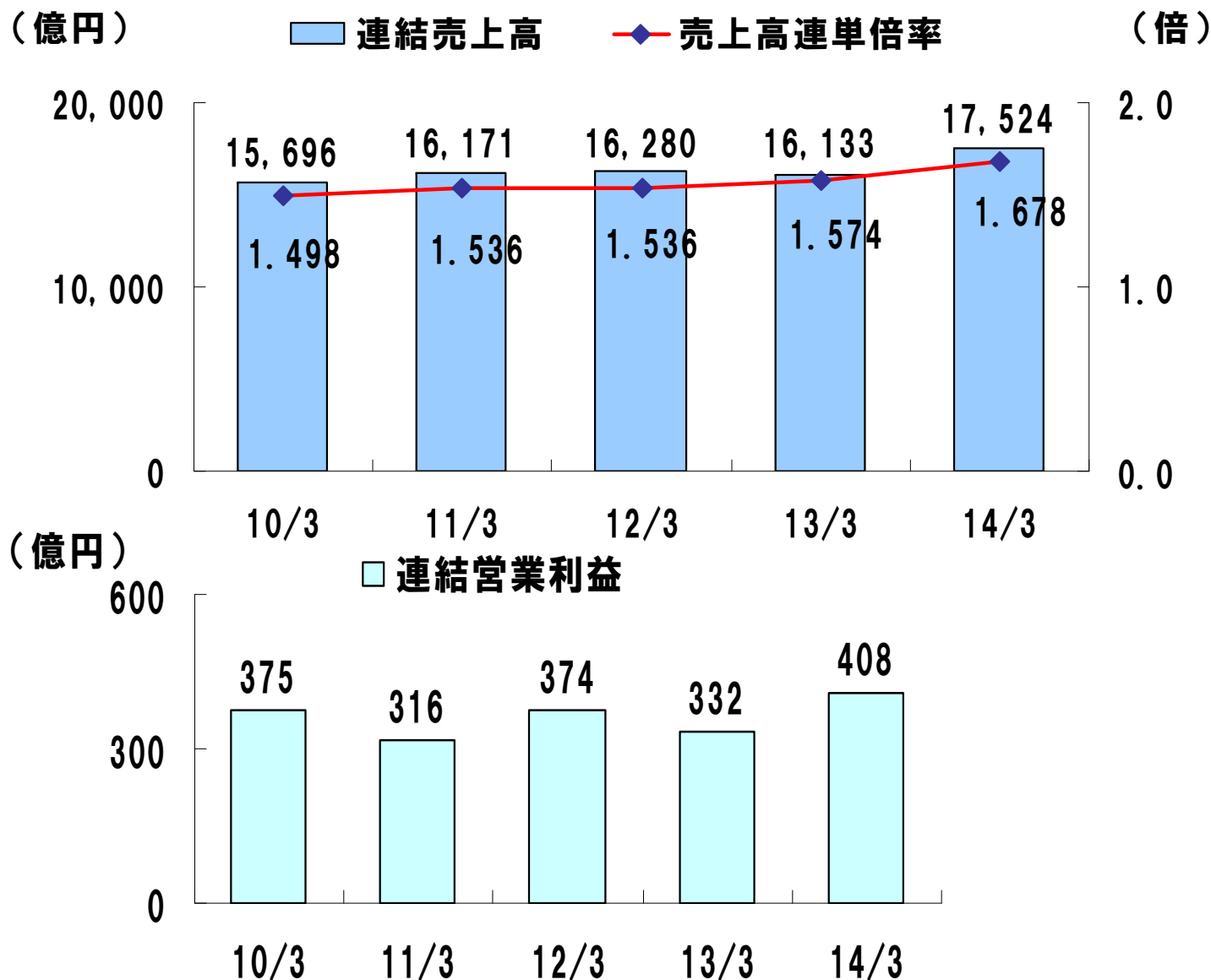
	改正後会計基準	従来会計基準	増減
総資産	13,774	13,532	242
負債	8,674	7,975	699
純資産	5,099	5,557	△457
自己資本比率	36.0	40.0	△4.0
自己資本利益率 (ROE)	5.2	5.0	0.2

C. キャッシュ・フローの実績

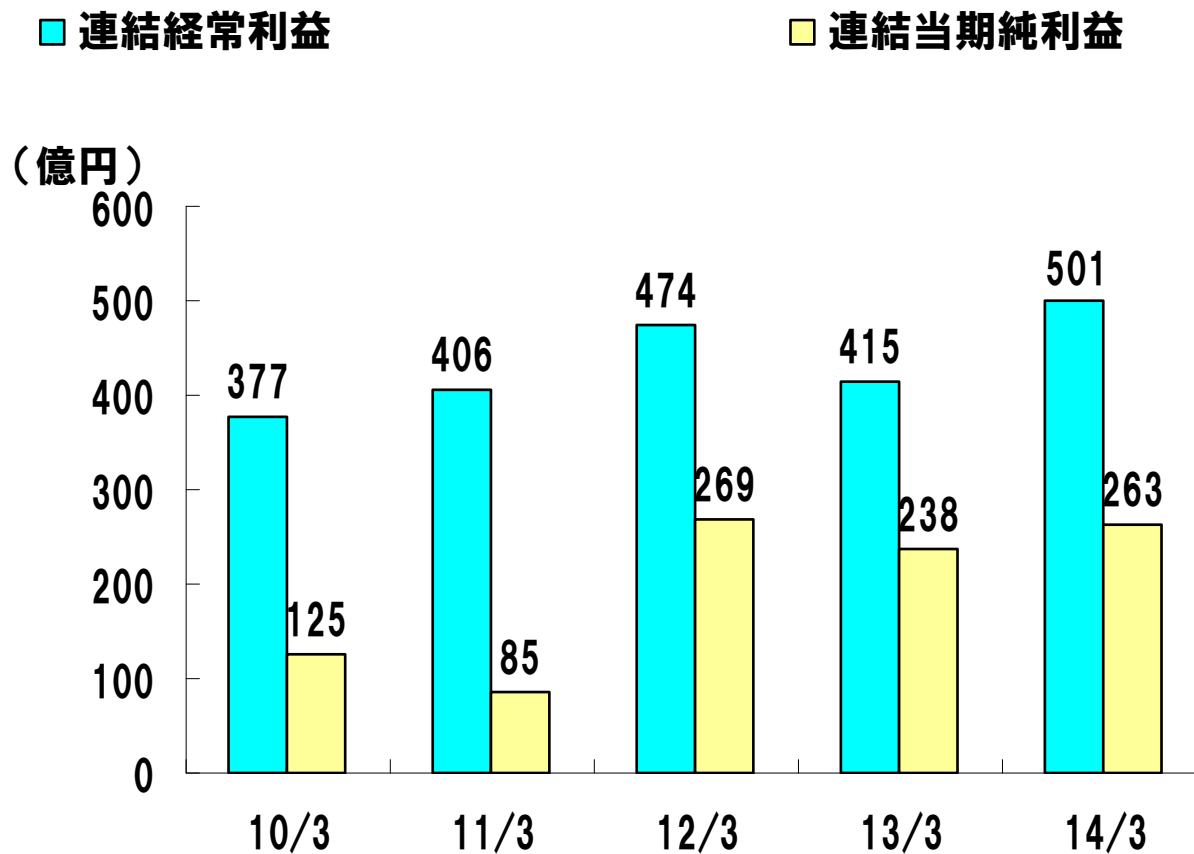
(単位：億円)

	2014/3期 実績 ①	2013/3期 実績 ②	増減額 (前年比) ③=①-②
営業活動による キャッシュ・フロー (A)	442	820	△378
投資活動による キャッシュ・フロー (B)	△581	△509	△71
フリー・キャッシュ・ フロー (A+B)	△139	310	△449
財務活動による キャッシュ・フロー (C)	58	△370	429
現金及び現金同等物に係る 換算差額 (D)	66	49	17
現金及び現金同等物の 増減額 (A+B+C+D)	△14	△11	△3
現金及び現金同等物の 期首残高	1,805	1,816	△11
現金及び現金同等物の 期末残高	1,790	1,805	△14

D. 直近5年間の売上高、営業利益の推移



E. 直近5年間の経常利益と当期純利益の推移



F. セグメント別状況

1) 複合事業

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(10/31発表)対比			
		14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
通期	売上高	7,217	6,992	224	3.2	7,120	101.4	97
	セグメント利益	151	70	80	114.1	138	109.2	12
4Q単四半期	売上高	1,853	1,758	95	5.4	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	54	33	20	62.7	2.9 (1.9)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> 消費増税前の駆け込み需要により、鉄道、自動車運送の取扱いが活発化し、増収増益 						

2) 警備輸送

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(10/31発表)対比			
		14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
通期	売上高	546	588	△41	△7.1	548	99.7	△1
	セグメント利益	11	17	△6	△34.3	10	109.1	0
4Q単四半期	売上高	136	146	△9	△6.8	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	2	3	△1	△46.5	1.5 (2.6)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> 競争環境が厳しく、各種費用の削減に努めたが、減収減益 						

F. セグメント別状況

3) 重量品建設

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(10/31発表)対比			
			14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率
通 期	売上高	366	371	△5	△1.4	345	106.3	21
	セグメント利益	19	29	△10	△34.8	19	99.6	△0
4 Q 単 四 半 期	売上高	89	86	2	3.4	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	4	4	0	13.9	5.2 (4.7)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> 海外工事や国内小型案件の積み重ねにより、増収増益 						

F. セグメント別状況

4) 航空

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(10/31発表)対比			
		14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
通期	売上高	1,817	1,821	△4	△0.2	1,786	101.7	31
	セグメント利益	56	39	16	40.9	51	108.2	4
4Q単四半期	売上高	462	425	37	8.8	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	10	8	2	32.0	2.4 (1.9)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> 輸出が対前年プラスに転じたほか、輸入、国内貨物の取扱いも堅調に推移し、増収増益 						

5) 海運

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(10/31発表)対比			
		14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
通期	売上高	1,317	1,242	75	6.0	1,303	101.1	14
	セグメント利益	51	46	4	9.5	54	93.4	△3
4Q単四半期	売上高	314	301	12	4.3	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	5	6	△1	△21.7	1.6 (2.1)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> 一般商業貨物の輸出が回復せず、設備輸送需要も一服 太陽光パネル関連の荷動きが鈍化し、海外引越も対前年マイナス 内航海運の取扱いは堅調に推移するも、増収減益 						

F. セグメント別状況

6) 米州

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(10/31発表)対比			
			14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率
通期	売上高	690	540	150	27.8	687	100.5	3
	セグメント利益	28	20	7	36.0	26	107.7	2
4Q単四半期	売上高	178	142	36	25.3	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	7	5	2	52.0	4.4 (3.7)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地通貨ベースでも、増収増益 ・ 自動車関連の海運・輸入、倉庫配送業務が堅調 						

7) 欧州

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(10/31発表)対比			
			14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率
通期	売上高	727	442	285	64.6	688	105.8	39
	セグメント利益	7	15	△8	△53.4	7	94.8	△0
4Q単四半期	売上高	210	120	90	75.5	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	1	7	△5	△82.5	0.6 (6.0)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地通貨ベースでも、増収減益 ・ 航空・海運輸出取扱いが減少、倉庫配送業務、域内トラック輸送も苦戦 						

F. セグメント別状況

8) 東アジア

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比			業績予想(10/31発表)対比		
		14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
通期	売上高	921	688	233	33.9	892	103.3	29
	セグメント利益	12	13	△0	△7.2	21	57.1	△9
4Q単四半期	売上高	273	188	84	44.6	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	2	1	0	28.9	0.9 (1.0)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地通貨ベースでも、増収増益 ・ 自動車関連の中国国内輸送が、大幅に回復 ・ 中国・香港発の航空輸出、台湾の倉庫は配送業務が好調 						

9) 南アジア・オセアニア

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比			業績予想(10/31発表)対比		
		14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率	差額
通期	売上高	513	442	70	16.0	516	99.5	△2
	セグメント利益	14	16	△2	△15.6	15	92.0	△1
4Q単四半期	売上高	137	107	29	27.8	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	4	1	2	142.9	3.3 (1.7)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地通貨ベースでも、増収増益 ・ 地域全体で航空輸出入の取扱いが増加、倉庫配送業務も堅調に推移 						

F. セグメント別状況

10) 販売

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(10/31発表)対比			
			14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率
通期	売上高	4,128	3,837	291	7.6	3,987	103.5	141
	セグメント利益	48	58	△9	△16.6	50	96.7	△1
4Q単四半期	売上高	1,134	1,008	125	12.4	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	14	8	6	74.3	1.3 (0.8)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石油販売単価の上昇により、増収 ・ 輸出貨物の回復に伴うロジスティクス・サポート事業の増加により、増益 						

11) その他

(単位：億円、%)

		実績	前年同期対比		業績予想(10/31発表)対比			
			14/3期	13/3期	増減額	増減率	予想	進捗率
通期	売上高	614	418	196	47.0	411	149.5	203
	セグメント利益	20	17	3	17.9	16	123.9	3
4Q単四半期	売上高	306	121	185	152.9	4Q単四半期営業利益率(前年同期)		
	セグメント利益	10	6	3	51.5	3.5 (5.8)		
	概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4Qから日通・パナソニック ロジスティクスが連結子会社に 						

II. 外部環境の変化

増減要素

変動要素	連結（通期）	参考
燃油費単価変動による影響	燃油費 21.2億円 （費用増）	（前年同期） 軽油 : 114.92円/ℓ（106.93円） ガソリン : 147.21円/ℓ（139.06円） 船舶重油 : 71.24円/ℓ（62.07円）
為替（円安）による影響	売上高 498.4億円 営業利益 16.8億円	年間平均為替レート（※）（前年同期） USD : 97.65円（79.82円） EUR : 129.68円（102.63円） HKD : 12.59円（10.29円） RMB : 15.91円（12.67円） 第4四半期平均為替レート（前年同期） USD : 100.46円（81.17円） EUR : 136.69円（105.25円） HKD : 12.96円（10.47円） RMB : 16.52円（13.02円）

（※）年間平均為替レートは参考値。決算では四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用している。

III. 経営計画の進捗状況

日通グループ経営計画 2015 -改革と躍進-

日通グループ企業理念・ビジョン

日通グループ経営計画2015

-改革と躍進-

2013年4月1日~2016年3月31日 (3ヵ年)

国際関連事業売上高比率

2016年3月期 40%

国内複合事業営業利益率

2016年3月期 3%

成長性

グローバルロジスティクス
事業の更なる拡大

収益性

国内事業の経営体質強化

成長性

グループ各社の多様性を
活かした事業拡大

社会性

CSR経営に基づく、
事業を通じた社会への貢献

III. 経営計画の進捗状況

日通グループ経営計画 2015 -改革と躍進- 基本戦略の進捗状況

基本戦略	項目	進捗状況
国内事業の経営体質強化	2016年3月期 国内複合事業営業利益率 3%	2014年3月期実績 2.1% (2014年3月期上半期実績 1.5%) (2013年3月期実績 1.0%)
グローバルロジスティクス 事業の更なる拡大	2016年3月期 国際関連事業売上高比率 40%	2014年3月期実績 32.5% (2013年3月期実績 29.7%)

IV. 2015年3月期の業績予想

A. 連結業績予想

(単位：億円、%)

	2015/3期予想			2014/3期実績			増減額 (増減率)		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	9,000	9,700	18,700	8,357	9,167	17,524	642 (7.7)	532 (5.8)	1,175 (6.7)
営業利益	200	250	450	174	234	408	25 (14.6)	15 (6.8)	41 (10.1)
経常利益	240	290	530	223	277	501	16 (7.2)	12 (4.4)	28 (5.7)
当期純利益	160	140	300	74	189	263	85 (114.9)	△49 (△25.9)	36 (13.9)

IV. 2015年3月期の業績予想

B. セグメント別状況

1) 複合事業

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	7,438	7,217	220	3.1	・ 営業力の強化、作業の効率化、販売料金の改定等により、増益を図る			
セグメント利益	179	151	28	18.5				
利益率	2.4	2.1						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	3,639	3,532	106	3.0	3,799	3,684	114	3.1
セグメント利益	71	52	19	37.2	107	99	8	8.6
利益率	2.0	1.5			2.8	2.7		

2) 警備輸送

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	556	546	9	1.7	・ 金融機関の新規設定便業務取扱い等により、営業拡大を目指す			
セグメント利益	12	11	0	3.5				
利益率	2.2	2.2						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	277	273	3	1.4	279	273	5	2.1
セグメント利益	5	4	0	2.8	7	6	0	4.0
利益率	1.8	1.8			2.6	2.5		

IV. 2015年3月期の業績予想

B. セグメント別状況

3) 重量品建設

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	412	366	45	12.4	・ 国内の風力発電、プラント工事のほか、海外大型工事の継続案件が見込まれる			
セグメント利益	21	19	1	9.8				
利益率	5.1	5.2						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	207	181	25	14.1	205	185	19	10.7
セグメント利益	11	10	0	9.7	9	8	0	9.8
利益率	5.4	5.6			4.8	4.8		

IV. 2015年3月期の業績予想

B. セグメント別状況

4) 航空

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	1,862	1,817	44	2.5	<ul style="list-style-type: none"> 営業体制を強化し、シェア拡大に努める BILT-2でのロジスティクス業務の拡大 			
セグメント利益	60	56	4	8.0				
利益率	3.3	3.1						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	916	881	34	4.0	946	936	9	1.1
セグメント利益	27	24	3	13.1	33	31	1	4.1
利益率	3.0	2.8			3.5	3.4		

5) 海運

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	1,200	1,317	△117	△8.9	<ul style="list-style-type: none"> 一般商業貨物の輸出回復は見られないものの、設備輸送、輸入、内航は堅調に推移すると予想 			
セグメント利益	45	51	△5	△11.7				
利益率	3.8	3.9						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	611	672	△61	△9.2	589	644	△55	△8.6
セグメント利益	30	33	△2	△8.5	14	17	△3	△17.8
利益率	5.0	5.0			2.5	2.8		

IV. 2015年3月期の業績予想

B. セグメント別状況

6) 米州

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	743	690	52	7.6	<ul style="list-style-type: none"> 米国の輸出入業務の回復、および、自動車関連取扱いが好調を維持することに期待 為替の影響による増収見込額 34億円 			
セグメント利益	30	28	2	7.6				
利益率	4.1	4.1						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	368	335	32	9.7	375	355	19	5.6
セグメント利益	12	11	1	10.8	17	16	0	5.4
利益率	3.5	3.5			4.7	4.7		

7) 欧州

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	834	727	106	14.6	<ul style="list-style-type: none"> アジア発航空輸入が回復傾向にあり、倉庫配送業務の改善も見込む 為替の影響による増収見込額 62億円 			
セグメント利益	10	7	3	50.0				
利益率	1.3	1.0						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	397	341	55	16.3	437	386	50	13.1
セグメント利益	6	3	2	59.2	4	3	1	39.4
利益率	1.5	1.1			1.1	0.9		

IV. 2015年3月期の業績予想

B. セグメント別状況

8) 東アジア

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	1,003	921	81	8.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米経済の緩やかな成長に伴う、需要回復を見込む ・ 為替の影響による増収見込額 50億円 			
セグメント利益	14	12	1	16.0				
利益率	1.4	1.3						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	471	420	50	12.1	532	501	30	6.1
セグメント利益	8	6	1	16.4	6	5	0	15.5
利益率	1.7	1.7			1.2	1.1		

9) 南アジア・オセアニア

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	580	513	66	12.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ お客様の引合い強く、輸出入、ロジスティクス業務の拡大を目指す ・ 為替の影響による増収見込額 6億円 			
セグメント利益	15	14	1	10.1				
利益率	2.7	2.8						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	285	243	41	17.0	295	270	24	9.2
セグメント利益	6	5	1	20.1	9	8	0	3.8
利益率	2.4	2.3			3.1	3.2		

IV. 2015年3月期の業績予想

B. セグメント別状況

10) 販売

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	4,225	4,128	96	2.3	・ 輸出の回復に伴い、ロジスティクス・サポート事業が堅調に推移するものと期待			
セグメント利益	54	48	6	12.8				
利益率	1.3	1.2						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	2,031	1,903	127	6.7	2,194	2,224	△30	△1.4
セグメント利益	23	20	2	14.3	31	27	3	11.8
利益率	1.2	1.1			1.4	1.3		

11) その他

(単位：億円、%)

通期	今回予想	前年実績対比			概況			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率				
売上高	1,394	614	779	126.8	・ 日通・パナソニックロジスティクスが収入増に寄与 ・ 日通NECロジスティクスは、3Qから連結子会社となる見込み			
セグメント利益	23	20	3	18.3				
利益率	1.7	3.3						
上・下半期	上半期				下半期 (ご参考)			
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	15/3期	14/3期	増減額	増減率
売上高	510	201	308	152.6	884	412	471	114.2
セグメント利益	6	6	0	2.1	17	13	3	25.8
利益率	1.3	3.2			2.0	3.4		

IV. 2015年3月期の業績予想

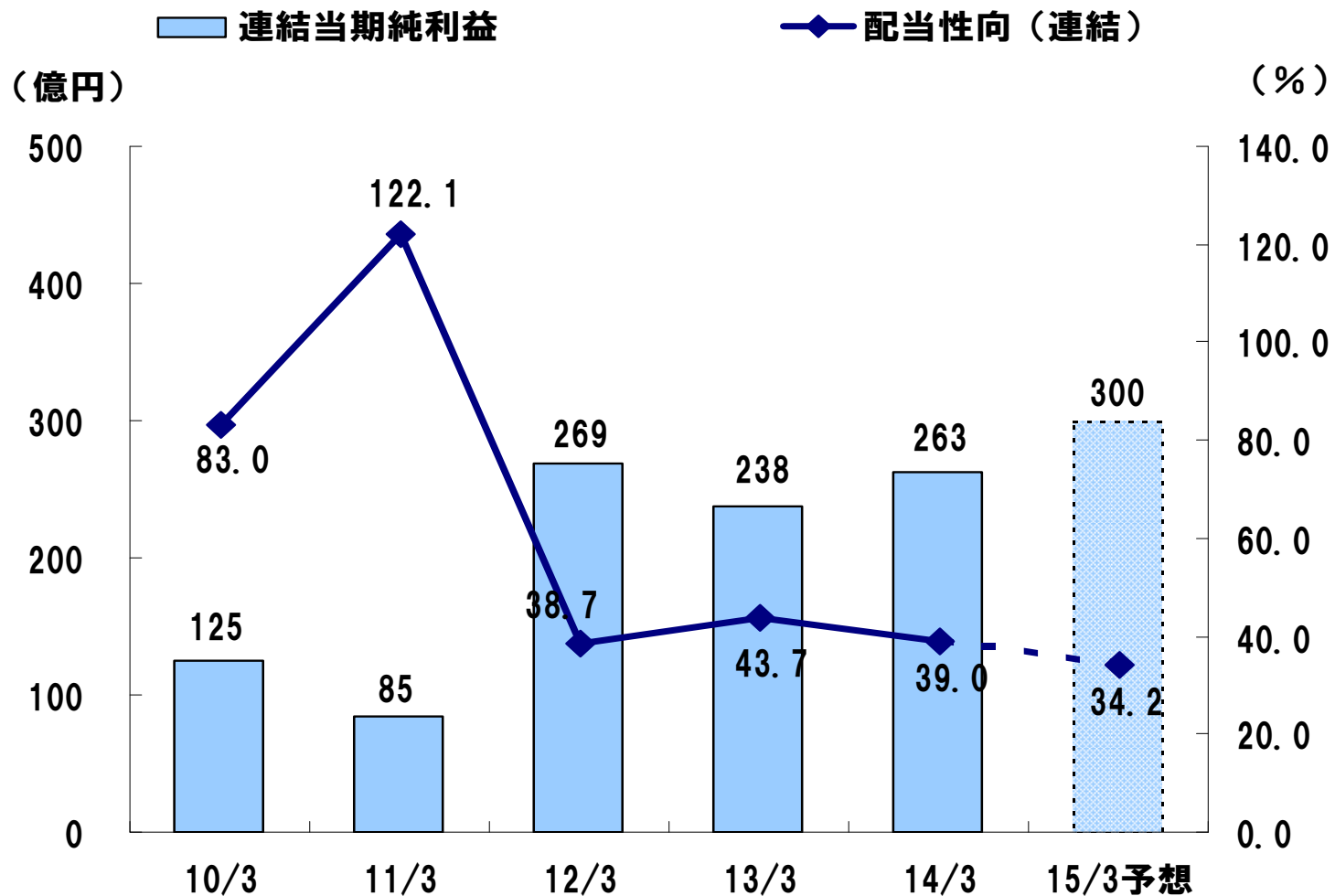
C. 外部要因の前提

	連結業績への影響	前提条件
燃油費単価変動による影響	燃油費 4.9億円 (費用増)	(前期年間平均) 軽油 : 115.70円/ℓ (114.92円) ガソリン : 148.87円/ℓ (147.21円) 船舶重油 : 75.51円/ℓ (71.24円) 使用量は前年と同量と想定
為替による影響	売上高 +153億円 営業利益 +2.4億円	(前期年間平均 ^(※)) USD : 102.50円 (97.65円) EUR : 141.00円 (129.68円) HKD : 13.20円 (12.59円) RMB : 16.80円 (15.90円)

(※) 前提となる為替レート及び前年同期レートは参考値。決算では四半期平均レートを各現地四半期実績に適用している。

V. 配当の状況

配当性向の推移と予想





本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。